

月刊

河井克行



日本を、
建て直す。



今日も河井克行代議士は被災地を歩きつづけます
(安佐南区緑井七丁目)

平成 26 年

10
月号

安倍総理「一日も早い生活再建に全力を尽くす」
梅林・三大自主防災会が陸自第13旅団に謝意
復旧事業の早期着手・完成を求める『要望書』提出
台湾出張
第9次ワシントンDC出張
第18次沖縄県出張
日米同盟深化への取り組みに注目が

広島豪雨災害 「一日も早い生活再建に全力尽くす」

～安倍総理 臨時国会所信表明演説で～



総理の所信表明を本会議場で聞く河井克行代議士
(右手前)

1 災害に強い国づくり

先般の「平成26年8月豪雨」により、広島での大規模な土砂災害をはじめ、全国各地で甚大な被害が発生いたしました。

亡くなられた方々のご冥福を謹んでお祈りするとともに、被害に遭われた皆さまに、心からお見舞いを申し上げます。一日も早い生活再建に、全力を尽くしてまいります。

土砂災害警戒区域にまだ指定されていない全国の危険箇所について徹底的な調査を行い、併せて、警戒区域の指定や国民への情報提供が、より万全な体制で行えるよう、制度の

見直しを進めてまいります。

今年の大雪災害では、放置された車両などによって、救助活動に支障を来しました。災害時にそうした車両を移動できるよう、災害対策基本法を改正いたします。インフラの整備だけでなく、避難計画の作成や周知、訓練の実施など、国土強靱化を、さらに推し進めてまいります。

災害対応には、与党も野党もありません。国民の暮らしを守るため、災害に強い国づくりを、皆さん、ともに進めていこうではありませんか。

『産経新聞』9月30日付

「陸自の皆さん、お世話になりました」

～梅林学区と三入学区の自主防災会が第13旅団長に謝意～

10月10日（金）、菅原辰幸・梅林学区社会福祉協議会長、加藤紘一・梅林学区自主防災会連合会長、正圖正暁三入学区自主防災会連合会長、新木信博・桐原自主防災会連合会長、山下昱夫・桐原自治会連合会長とともに、河井克行代議士は海田市駐屯地に掛川壽一旅団長らを訪ね、先の豪雨災害での活動に感謝を表しました。

8月20日から9月11日までの23日間、延べ21,396人・日の隊員が災害派遣に参加。八木三丁目・八木四丁目・緑井七丁目・三入四丁目・可部町桐原で捜索・救助や道路啓開を行ったほか、梅林小学校と三入小学校に仮設入浴施設を展開しました。

被害が激しかった安佐南区八木地区の梅林学区社会福祉協議会の菅原辰幸会長は「警察、消防とともに昼夜を問わず捜索活動をいただき、ありがとうございました」と述べ、掛川旅団長は「被災者や周囲の住民に活動場所の提供をいただいた。励ましの声ももらった」と答えた。

土砂災害で被害を受けた広島市安佐南、安佐北両区の自治会などの役員5人が10日、海田町の陸上自衛隊第13旅団の海田市駐屯地を訪れ、掛川壽一旅団長に救助活動に対するお礼を述べた。



陸自隊救助に感謝
被災の2区自治会など

『中国新聞』
10月11日付

「事業の早期着手・完成を」 被災地の声を国に届ける

～地元から多数の『要望書』が提出～

被災地で国の復旧事業への期待が高まっています。「生活再建と新しいまちづくりは、まず危険溪流の安全確保から」と考える河井克行代議士は、砂防・治山事業に必要な予算と人員の確保を政府や党に強く訴えています。その動きを後押ししようと、関係する自治会長から「一日も早い着工および早期完成をお願いいたします」と記された『要望書』が河井克行代議士に相次いで出されました。河井克行代議士は政府と連携し、事業の推進に全力を注ぎます。



大野宏之・国土交通省水管理・国土保全局砂防部長に被災地の願いが詰まった『要望書』の束を手渡す

『要望書』が出された自治会等は次の通りです。

安佐南区

梅林学区社会福祉協議会	八木学区連合町内会	八木学区自主防災会連合会
岩谷自治会	八敷福祉会	緑井上組町内会
小原自治会	八木住宅町内会	上市の坪自治会
第二市ノ坪自治会	第二市の坪自治会	梅林台自治会
上楽地町内会	阿武の里自治会	八木ヶ丘町内会
室屋自治会	山手町内会	別所第一区自治会
別所第二自治会	別所県営自治会	下細野自治会
上細野自治会	鳴渡場町内会	畑組自治会

安佐北区

可部南学区町内会自治会連絡協議会		可部第二東垂ハイツ自治会
新建自治会	新建熟年会	可部学区ゆめクラブ
東原町内会	上原自治会連合会	桐原自治会連合会
下町屋町内会連合会	下町屋10区自治会	山田自治会



尾田豊機・あさひが丘連合自治会会長と金持忠彦・あさひが丘団地管理組合法人理事長が広島事務所に来所。あさひが丘では国の砂防ダム3基が完成、4基が施工中、4基が計画されています。

あさひが丘連合自治会のほか、国が直轄砂防事業を既に実施中か計画している畑組自治会、大町学区社会福祉協議会、大町学区連合町内会、第一大町団地自治会、大町富士団地町内会、下大町県営自治会、矢ヶ谷町内会、河内谷町内会、武田山自治会、葵の荘団地町内会、第二高取台町内会、飯室地区上畠自治会、後山協和会、後山自主防災会からも早期完成の『要望書』が提出されました。

台湾要人と精力的に会談

～アジア太平洋地域の将来を語る～

8月19日（火）から行われた河井克行代議士の台湾訪問は、集中豪雨災害発生で当初の予定が切り上げられましたが、東アジア情勢全般や集団的自衛権行使容認の閣議決定などについて各界要人と有意義な意見交換を行うことができました。日本への期待の大きさと台湾の戦略的な重要性を改めて認識した河井克行代議士は、「古き良き友人」（安倍総理大臣）である台湾との親交を今後も深めていきます。



馬英九總統を表敬した河井克行代議士に、広島市北部土砂災害へのお見舞いが表明されました



日本の政界に知己が多い王金平・立法院長



野党第一党を率いる蔡英文・民進黨主席



馬總統の懐刀・金溥聰国家安全會議（NSC）秘書長



駐米代表を務めた呉釗燮・民進黨秘書長や若手立法委員ら（国会議員）と夕食会



李鴻鈞・台日議員連盟会長（立法委員）林郁方・台米議員連盟会長（立法委員）と昼食会



最大部数日刊紙を発行する呉阿明・自由時報董事長は、安倍総理に宛てた手紙を流暢な日本語でお書きに



代表的なシンクタンク兩岸交流遠景基金会で「安倍政権の外交・安全保障政策～集団的自衛権行使容認がめざすもの～」と題し、英語で講演を行う

第9次ワシントンDC出張

～内閣改造、「イスラム国」、米中間選挙につき意見交換～

9月8日（月）～10日（水）、河井克行代議士は9回目のワシントンDC出張を行いました。内閣改造・自民党役員人事のねらいを説明するとともに、国際情勢全般や11月4日投票の米国中間選挙の展望などについて意見交換を行いました。



会談日が誕生日のマキオン下院軍事委員長（共和）に「キャピタルヒルの父へ」とカードを贈る



キャロライン・ケネディ駐日大使の甥にあたるジョゼフ・ケネディ下院議員（民主）と再会



ラッセル国務次官補と新任のヤング国務省日本部長



中国出張中の国家安全保障会議（NSC）メデイロス・アジア上級部長に代わり、成都総領事へと異動するグリーン日本部長、国防総省から異動してくるジョンストン次期日本部長とホワイトハウスで会談

人道支援の拡充 米が日本に要請

【ワシントン＝今井隆】

米国家安全保障会議（NSC）のレイモンド・グリーン日本部長とクリストファー・ジョンストン次期日本部長は9日、ホワイトハウスで、自民党の河井克行衆院議員と会談し、日本政府がイラクで実施している人道支援を拡充するよう要請した。

河井氏によると、グリーン氏らは「同盟国として、国際社会の一員として、日本に具体的な連携を期待している」と述べた。日本政府に対し、「イスラム国」の打倒を目指す「有志連合」の一員としての役割を求めたものだ。日本政府は今年2月以降、イラク北部の避難民支援の目的で、計780万ドル（約8億2700万円）の緊急無償資金協力を決定している。

『読売新聞』9月10日付夕刊

第18次沖縄県出張

県知事・那覇市長の選挙が近づく沖縄県の政治・経済情勢をつかむため、河井克行代議士は10月6日（月）から9日（木）まで沖縄県に出張。各界の要人と精力的に会い、地元の声をしっかりと聴いて回りました。



稲嶺恵一・前県知事



大田昌秀・元県知事



國場幸一・県商工会議所連合会会長



新崎弘光・県農協中央会会長



安里昌利・県経営者協会会長



下地米蔵・県建設業協会会長

訪米9回、首相の密使・河井克行

安倍晋三首相の密使として、最近
は毎月のようにワシントンを訪問し
ている河井克行衆院議員（広島3
区）＝写真＝が4日夜、赤坂の料亭
で経済人を前に語った。

「靖国神社
をお参りして
以降、オバマ
政権と安倍政
権は微妙な関
係だったが、
ここにきて急速に好転した」



河井氏は、広島県生まれの51歳。
慶応大学、松下政経塾、広島県議を
経て、96年に衆院議員に初当選した。
当選5回。外務大臣政務官や衆院外
務委員長を務める。昨年5月以降、
訪米9回、沖縄へは19回である。
「先週、ニューヨークで国連総会

があり、その際の、安倍首相とバイ
デン米副大統領の会談が極めて重要
だった。副大統領が言った。『国際
社会は日本を必要としている。アジ
ア太平洋地域で本当に頼りになるの
は日本だ』と。安
倍政権への評価が
高まったのだ。
オバマ大統領は
上院議員を1期し
かしていないが、バイデン氏は上院
の外交委員長経験の重鎮である。大
統領は「外交、特にアジア太平洋地
域はバイデン氏を信頼して任せてい
る」とされる。
河井氏は訪米すると、議会ではマ
ケイン上院議員、マケオン下院軍事
委員長、政府ではラッセル国務次官
補、国家安全保障会議(NSC)のメ

鈴木棟一の 風雲永田町

4999

デイロス・アジア上級部長、NSC
のグリーン日本部長、バイデン副大
統領のサリバン国家安全保障担当補
佐官、さらにブルッキングス研究所、
ハドソン研究所などシンクタンクと
の交流を重ねた。河井氏が言った。
「日米関係が毀損（きそん）した
のが民主党政権が崩壊した原因だっ
た。オバマ政権は
毎年、首相がコロ
コロ替わる日本に
失望していた。し
かし、安倍首相は
違う。ちゃんと日米関係強化の手を
次々に実行している、と見方が変わ
った」
他の要因は、
「中国が南シナ海などで野蛮な振
舞いをしている。韓国は中国に近

寄りすぎている。日米同盟の保障が
あって米韓同盟が成立していること
を、なぜ分らないのか。米国の中
韓への「失望」が背景にある」
さらに、次の指摘も。
「安倍首相の積極外交に米国は感
謝している。ASEAN（東南アジ
ア諸国連合）を中心に47カ国を回っ
た。すべての国で日米同盟を強調し
ている。米国の手が回らない部分を
補強してくれている、と思っている」
ただし、次の危惧を河井氏が語っ
た。
「米国内の韓国ロビーがかなり強
力で、影響力を増している。大学な
どに、人、モノ、カネを注いでい
る。選挙でまとまって投票し、影響
力行使する。日本もこれへの対応
を考えるべきだ」（政治評論家）

「米国の安倍評価は好転」

日米同盟を強化する上で一つの重要な外交手段がある。いわゆる「議員外交」だ。民主党政権下では事実上の休止状態だった対米議員外交が自民党の政権復帰後、動き出している。

今年6月下旬、外交・安全保障政策の価値観共有を目指す超党派議員連盟が発足した。「日米同盟コーカス」の中心メンバーは自民党の河井克行前衆院外務委員長や民主党の保守系議員、長島昭久元防衛副大臣ら与野党の中堅・

永田町群像

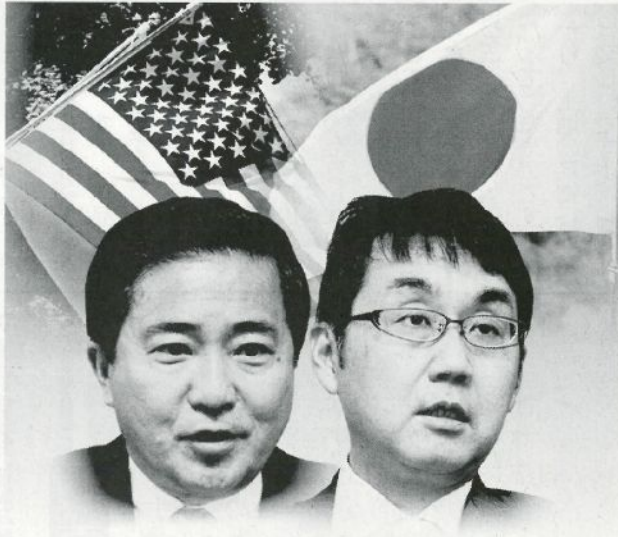
若手議員だ。安倍晋三首相が掲げる「日米同盟の強化」実現の一助になろうとしている。

「民主党政権と比べれば日米関係はずっといいが、オバマ米大統領は（安倍政権に対して）初めは少し疑念を抱いていた」

昨年5月2日、当時衆院外務委員長だった河井氏が訪米した際、知日派のリチャード

2. 日米同盟強化

—重要政策の担い手たち—



「日米同盟コーカス」の中心メンバー、自民党の河井克行前衆院外務委員長（右）と民主党の長島昭久元防衛副大臣（コラージュ）

議員外交 党派超え動き出す

・アーミテージ元国務副長官の行使容認だ。河井氏は、から、そんな言葉が突きつけられた。第2次安倍政権発足から4カ月余りだが、3年3カ月の民主党政権で失われた米国との信頼関係を取り戻すのは簡単ではない。そう実感させられた一言を、河井氏は今も鮮明に覚えている。

河井氏は今年3月以降、首相の特命を受ける形で毎月訪米する。テーマは集団的自衛権

の党の水野賢一幹事長ら計9人が集まった。

7月下旬、河井氏と訪米した長島氏はワシントンでのシンポジウムで、集団的自衛権の行使容認について「党派を超えて是認されるべきだ」と野党であっても安全保障政策は支持する考えを表明し、聴衆の歓迎を受けた。

「これまでの日米関係において日本は受け身で対応して

約270人になる。中曽根氏と議連の小坂憲次幹事長、塩崎恭久事務局長（いずれも自民党）は今年1月に訪米し、昨年末の首相の靖国神社参拝について真意を説明して回った。4月のオバマ氏訪日に合わせて、共和党のカウンター下院院内総務（当時）ら米議員団と会合を開き、環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）交渉をめぐる意見交換した。

た。河井氏は訪米を繰り返すうちに「一国の根幹となる政策は党を超えて共有すべきだ」との思いを強くしたという。

米議会でも今年3月、超党派下院議員による「ジャパン・コーカス」が発足していた。共同議長は共和党のデビン・ニューネス氏と民主党のホアキン・カストロ氏で、若手議員が中心だ。日本側のコーカスも、自民党の城内実外務委員会や民主党の松本剛明元外相、日本維新の会の松野頼久国会議員団代表、みんな

いけばよい時代もあった。だがもはやそういう時代ではない。アジア太平洋地域の平和と安定のために自ら積極的に関与していく姿勢が必要だ」

長島氏の言葉は、首相の掲げる「積極的平和主義」と重なる。首相自身も日米同盟コーカスの存在意義を感じ取っているようだ。同時に、野党の保守系議員を取り込む狙いもちらつく。

これまで日米議員外交の軸を担っていた超党派「日米国会議員連盟」（日米議連、会長・中曽根弘文元外相）も第2次安倍政権誕生後に本格的に活動を再開、メンバーは

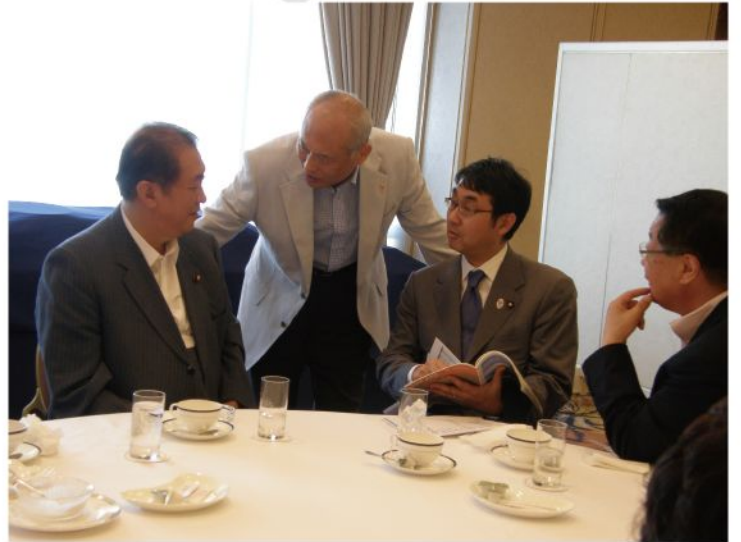
議員外交が活発になり、特に河井氏らの動きに対し、外務省などは露骨に不快感を示す。「二元外交の極みだ」（自民党関係経験者）という課題もつきまとう。

しかし、中国や韓国が米国内で展開する「反日宣伝」に対抗する上でも、活発な日本の議員活動は欠かせない。河井氏も「米国では大統領が強大な権限を持っていると思われがちだが、実は議会が大きな影響力を持っている。だからこそ議員交流が必要だ」と強調する。（力武崇樹）

◆ MSN産経ニュースに河井、長島両氏のインタビューを掲載しています。

鳩山邦夫グループ「きさらぎ会」が 夏季研修会を開催

8月6日午後、東京都内のホテルで「きさらぎ会」(110名)初の夏季研修会が開催され、国会議員本人50名が参加しました。会の幹事長を務める河井克行代議士が司会進行を務めるなか、鳩山邦夫元総務大臣の「5～6年間の長期政権を実現するために、何があろうとも安倍総理と菅官房長官を支えよう」開会挨拶に始まり、舛添要一・東京都知事の祝辞、ロシア研究第一人者・下斗米伸夫法政大学教授と安倍総理大臣が最も信頼を寄せる経済人の葛西敬之・JR東海代表取締役名誉会長による講演が行われました。



「安倍親衛隊」視線は来秋

「9月の内閣改造を控え

党内のうごめきが表面化しないよう、抑止力になりたい」。自民党有志の勉強会「きさらぎ会」が6日、都内で開いた研修会。会長の元総務相、鳩山邦夫は参加議員約50人に対し、首相、安倍晋三を支えるため結束するよう呼びかけた。

きさらぎ会は2011年6月、元農水副大臣の今村雅弘、元法務副大臣の河井克行ら鳩山と親しい議員がつくった。新党構想を掲げ、10年に離党した鳩山の復党を目指す枠組みだった。名称は「2月(如月)は冬の寒さが一番厳しい時期だが、耐え忍べば春も近い」と、今村が命名した。

その今村は現在のきさらぎ会を「安倍親衛隊の多国籍軍」と呼んでいる。設立当初わずか5人だった会員数は、徹底した安倍支持を背景に無派閥の若手を中心に衆参合わせて109人まで膨らんだ。党内で無視できない新興勢力だ。

「いついこうきだからこそ、いよいよきさらぎ会」

その出番だ。俺は無役で安倍さんを支えていく。安倍内閣の支持率が5割を切ったのを見て、鳩山はこうつぶやく。研修会には講師の一人に安倍と親しいJR東海名誉会長、葛西敬之を呼んだ。河井は「葛西さんから話を聞いて安倍支持を一段強くする。官邸へのメッセージだ」と話す。

安倍は就任後、きさらぎ会の会合に2回出席。12年の自民党総裁選に触れては「いち早く鳩山さんのグループが支持を表明してくれて心強かった」と話す。官房長官、菅義偉も7月2日に顔を出し「頼りにしている」と謝意を示した。

衰えてもなお残る「鳩山ブランド」も求心力だ。きさらぎ会の6割は衆参の当選1回生。鳩山は13年分の所得が約29億円と、与野党でトップだ。同会に名を連ねても、各派閥の所属議員のよちに会費の支払いやパーティー券割り当てに悩まされることはない。

「派閥は100人を超えると分裂する」。きさらぎ会に参加する元行政改革相、佐田玄一郎にはこんな不安もよぎる。かつて所属していた経世会(旧竹下派)が分裂した記憶からだ。それだけに、鳩山らは派閥化を否定し、派閥横断の枠組みを前面に出す。「各派の中堅・若手を安倍支持でまとめるには、無派閥の方がやりやすい」(幹部)からでもある。安倍親衛隊の「鳩山派」ならぬ「鳩山系」の勝負どころは、15年秋の総裁選だという。

敬称略
(飯塚遼)

『日本経済新聞』
8月25日付



自由民主党広島県第三選挙区支部 衆議院議員 河井克行事務所

国会事務所 〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2 衆議院第二議員会館1208号室
TEL: 03-3581-5111(内線71208) 03-3508-7518(直通) FAX: 03-3508-3948

広島事務所 〒731-0153 広島市安佐南区安東2-1-22
TEL: 082-832-7301 FAX: 082-878-3301

公式HP <http://www.kawaikatsuyuki.com>

河井克行

検索